

十和田市現代美術館 開館 5 周年記念展 vol.1

flowers*

2013 年 4 月 27 日(土) - 2013 年 9 月 8 日(日)

[基本情報]

展覧会名＝	flowers (フラワーズ)
展覧会英名＝	flowers
会期＝	2013年4月27日(土)～2013年9月8日(日)
会場＝	十和田市現代美術館、中心商店街ほか
開館時間＝	9:00-17:00 (入場は閉館の30分前まで) ただし4月28(日)、5月3日(金)～5日(日)、8月9日(金)～10日(土)は19:00 まで延長開館。
閉館日＝	月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)ただし4月30日(火)、5月1日(水)、 8月5日(月)、12日(月)は開館。
観覧料＝	企画展+常設展セット券1000円。企画展の個別料金は一般600円。常設展の個別 料金は一般500円。団体(20名以上)100円引き。高校生以下無料。
主催＝	flowers展実行委員会(十和田市、十和田市現代美術館、株式会社まちづくり 十和田、十和田市商店街連合会)
協賛＝	カラーキネティクス・ジャパン株式会社
協力＝	鳩正宗株式会社、南部裂織保存会、Impossible Tokyo KK
後援＝	駐日韓国大使館 韓国文化院、東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、 青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会
アートディレクション＝	加藤賢策(東京ピストル)
編集協力＝	影山裕樹(OFFICE YUKI KAGEYAMA)

お問い合わせ

十和田市現代美術館 新居(にい)、豊川

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

展覧会概要

— 花は咲く —

十和田市現代美術館は、2013年4月27日から9月8日まで、Arts Towada 十和田市現代美術館の開館5周年を記念して、花をテーマにした展覧会「flowers」を開催します。

2008年、Arts Towada 十和田市現代美術館は、「アートによる新しい体験の提供」「地域にひらかれた美術館」をテーマに開館しました。5周年を記念する本展では、古くから人々の心を捉える美しさと、多様な生命を育む力強さを兼ね備え、古今東西のアーティストの永遠の主題である《花》に着目し、現代のアート表現を一堂に会します。

本展では、美術館に常設作品を展示しているアーティストに、新たなアーティストを加え、花の作品を多数出品してもらいます。作品は美術館のみならず、街中にも展開し、観客は美術館から街の中へ、作品探しの冒険に出発します。

日本では、花伝書に知られるように、花を人生の彩りと重ね合わせてみることも行われてきました。国際的に活躍するアーティストが展開するさまざまな《花》の表現は、民族や宗教、国家間の対立を越えて人々の間に“共感”を育み、東日本大震災を経てなお続く困難に立ち向かう、新たな勇気と希望を呼び起こしてくれることでしょう。

美しく咲き誇る官庁街通りの桜並木と共に、雪国が待ちわびるアートの花をお楽しみください。



本展のみどころ

- 1、美術館のみならず、街中にそして見る人の心にアートの花を咲かせます。
- 2、地域と連携し、さまざまなプロジェクトを会期中に実施します。
- 3、現代アート界を代表するアーティストが参加します。



お問い合わせ

十和田市現代美術館 新居（にい）、豊川

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

参加アーティスト (五十音順) *2013 年 4 月時点

青山悟 Aoyama Satoru	(展示場所：街中 [bank towada] / 一部新作)
安斉研究所 ANZAI lab	(展示場所：街中 [C-lounge] / 新作)
大庭大介 Ohba Daisuke	(展示場所：街中 [bank towada])
大巻伸嗣 Ohmaki Shinji	(展示場所：美術館)
草間彌生 Kusama Yayoi	(展示場所：美術館 / 一部国内未発表作品 / 街中バナーデザイン)
工藤麻紀子 Kudo Makiko	(展示場所：美術館 / 新作)
須田悦弘 Suda Yoshihiro	(展示場所：美術館)
高橋匡太 Takahashi Kyota	(展示場所：美術館 / 新作)
チェ・ジョンファ Choi Jeonghwa	(展示場所①：美術館 / 一部新作) (展示場所②：街中 [Art Station Towada、中央デパート、松本茶舗、田島生花店、吉田屋種苗店ほか] / 新作)
チームラボ teamLab	(展示場所：美術館)
奈良美智 Nara Yoshitomo	(展示場所：美術館)
蜷川実花 Ninagawa Mika	(展示場所：美術館 / 新作)
藤森八十郎 Fujimori Hachijuro	(展示場所：街中 [中心商店街全域] / 新作)
山本修路 Yamamoto Shuji	(展示場所①：美術館 / 新作) (展示場所②：澄月寺 / 一部新作) (展示場所③：街中 [高村食料品店、福田菓子舗、大友歯科医院] / 酒プロジェクト)

flowers 関連アートプロジェクト

1、フラワー・ホース プロジェクト

美術館のエントランスにそびえたつ韓国人アーティスト チェ・ジョンファによる高さ 5.5m の「フラワー・ホース」。馬と密接な関わりをもつ十和田市の歴史からインスピレーションを得てつくられました。来館者、地域の方々に愛される存在です。

この「フラワー・ホース」をたくさんつくり、街を飾るフラワー・ホース プロジェクトを地域の方々とともに会期中に実施します。



スペシャルプロジェクト①『花は咲く フラワー・ホース プロジェクト』

by チェ・ジョンファ + 十和田市立南小学校 + 中利

創立55周年を迎える十和田市立南小学校の子どもたちは、地域で活躍するアーティスト 中利氏の協力を得て、Art Station Towadaにフラワー・ホースを展示します。

子どもたちは軽量粘土を使い、色とりどりの花をチェ・ジョンファとともにつくりました。

スペシャルプロジェクト②『山車 フラワー・ホース プロジェクト』

by チェ・ジョンファ + 南町内会

毎年 30 万人の人々でにぎわう十和田の風物詩「秋まつり」。勇壮な山車の運行で知られています。本展では、南町内会の山車で使われていた馬の彫刻に花を咲かせます。昔なつかしいアーケード商店街の中央デパート（中央商店街）に展示します。

2、酒プロジェクト

アーティスト 山本修路と鳩正宗の杜氏・佐藤企（たくみ）氏が中心となり、地域の風土を生かした「酒プロジェクト」を推進しています。

一貫して「森をつくる」をテーマに制作に取り組んできた山本が、その土地その土地の森や植物を観察し、森林の成り立ちや森で起きていることなど、森の生物に関するさまざまな事象から物語を見出し、わたしたちが生きて行くために不可欠な森をより深く感じるための作品を制作しています。佐藤企氏も「自家栽培米特別純米酒 佐藤企」をはじめとし、十和田にゆかりのある酒造りを長年にわたって行っています。

このプロジェクトは、米作りから日本酒を造るまでの過程を地域の方と協働で行うことで、地域の自然に触れ、風土を知り、森を守り育てることを目的に企画されました。一年をかけたプロジェクトを街中で紹介します。（作付米：華吹雪）



3、南部裂き織りプロジェクト

本展では、館内の監視員やカフェスタッフが、南部裂き織りの布を使った花のコサージュを着用します。南部裂き織りは周辺地域に伝わる伝統工芸で、古布を裂いて横糸として織りあげる、先人達の暮らしの知恵でもあります。

コサージュの制作は、十和田で40年間に渡り活動続ける「南部裂織保存会」が担当します。本展の企画に賛同しコサージュを提供するという形で本展に参加、会員の皆さんが自らワークショップを実施、デザインを考案し、25のコサージュを完成させました。

2010年より、館内スタッフは南部裂織保存会制作のつけ襟を着用しており、多くの来館者から「伝統工芸は、現代アートの展示空間でも違和感がない」と好評を得ています。今回は、愛らしい花のコサージュをもって、地域に残る手技の美しさを伝えます。



キャプション「ワークショップの様子（デザイン指導：Sakiori 3G Project）」

*その他にも、会期中にさまざまな関連プロジェクト、イベントを予定しています。

アーティスト略歴 (五十音順)

■青山悟

1973 年東京都生まれ、2001 年 The School of the Art Institute of Chicago, MFA Fiber and Material Study Department 卒業、東京都に在住。大量生産のためのテクノロジーである工業用ミシンを用いて丹念に縫い上げられた刺繍作品を通して、現代人の生活とテクノロジーとの関係性を批評し、またそれにより失われつつある人間の感受性や創造性についての問題を提起し続けている。

2012 年「Storyteller」(国際芸術センター青森、青森)、「Photo Reference: Photographic Image in Contemporary Japanese Art Practices」(ベオグラード文化センター、セルビア)

2011 年「VOCA 展 2011」(上野の森美術館、東京)

2010 年「六本木クロッシング 2010 展: アートは可能か?」(森美術館、東京)

■安斉研究所

イラストレーター安斉 将とクラフト作家miu. laboらにより結成された、アートと街の関係を研究する機関。空き店舗を利用したまちなかアートスペース、伝統とアートを融合させたウマジンプロジェクトなど、青森県十和田市を拠点に活動中。

2013 年「超訳 びじゅつの学校」(十和田市現代美術館、青森)

2012 年「Arts Towada Oirase Exhibition & Demonstration」(十和田奥入瀬エリア、青森)

■大庭大介

1981 年静岡県生まれ、2007 年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。茨城県在住。偏光パール系のアクリル絵の具を用い射す光や鑑賞者の立つ位置などによって表情を無限に変化させる作品で、“自然の成り立ちにかかわりあう絵画の可能性”を表現する。

2012 年「超群島展」(青森県立美術館、青森)

2011 年 個展「The Light Field -光の場-」大和ジャパンハウス (ロンドン)、「Ecosophia - アートと建築」堂島リバービエンナーレ 2011 (大阪)

2010 年「VOCA 展 -新しい平面の画家たち-」(上野の森美術館、東京)

2004 年 シェル美術賞入選

2003 年 第 1 回現代美術コンクール入賞

■大巻伸嗣

1971 年岐阜県生まれ、1997 年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。東京都在住。2011 年東京藝術大学美術学部彫刻科准教授現職。

「トーキョーワンダーウォール 2000」に『Opened Eyes Closed Eyes』で入選以来、Echoes シリーズ(資生堂ギャラリー、岡本太郎美術館、東京都現代美術館)、Liminal Air (東京ワンダーサイト、ギャラリーA4、アジアパシフィックトリエンナーレ)など、展示空間を非日常的な世界に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品を発表している。

2012 年 個展「大巻伸嗣 存在の証明」(箱根彫刻の森美術館、神奈川)

2012 年 個展「MOMENT AND ETERNITY」Third Floor-Hermes/シンガポール

2009 年 個展「大巻伸嗣岐阜プロジェクト 2009 水晶の花とシャボン玉の参加型アート」(岐阜県美術館、岐阜)

2009 年 the Sh Contemporary 09 best young artist award

■草間彌生

前衛芸術家、小説家。幼少より水玉と網目を用いた幻想的な絵画を制作。1957年単身渡米、独創的な作品と活動はアート界に衝撃を与え前衛芸術家としての地位を築く。帰国後も全世界を飛び回り活躍中。小説、詩集なども多数発表。

2012 年 ルイ・ヴィトンとのコラボレーション「LOUIS VUITTON × YAYOI KUSAMA Collection」発表

2009年 文化功労者に選ばれる。KDDIブランドiidaより草間彌生モデル携帯電話誕生

2006年 第18回高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門受賞

2000 年 第 50 回芸術選奨文部大臣賞、外務大臣表彰

1983年 小説「クリストファー男娼窟」で第10回野性時代新人文文学賞受賞

■工藤麻紀子

1978 年青森県生まれ、2002 年女子美術大学油絵科卒業。現在、神奈川県在住。2009 年にグループ展『ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開』（原美術館、東京ほか）に出品、現在も海外を巡回中。その他にも多数の展覧会に参加しており、『Pretty Baby』（2007 年、フォートワース近代美術館、テキサス）、『MATRIX 213: Some Forgotten Place』（2004 年、University of California, Berkeley Art Museum & Pacific Film Archive、カリフォルニア）へ出品し同美術館にコレクションされたほか、ロサンゼルス現代美術館、オルブリヒト・コレクション、国際交流基金、サーチギャラリー、高橋コレクションなど、国内外で作品が収蔵されている。

■須田悦弘

1969 年山梨県生まれ、1992 年 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。現在、東京都在住。日本の伝統を想起させる木彫を手法に花のモチーフを用いて、インスタレーションという新しい手法に結びつける活動は、1990 年代中頃以降、現代アートやそれ以外の幅広い領域からも注目されている。

2012 年 個展「須田悦弘展」（千葉市美術館、千葉）

2006 年 個展「須田悦弘展」（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川）

2004 年 個展「須田悦弘」（パレ・ド・トーキョー、パリ）

国内では、ほかに原美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館、国立国際美術館（三作家の個展を同時開催）等で個展を開催。

■高橋匡太

1970 年京都府生まれ。1995 年京都市芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。アーティスト。京都府在住。映像と光によるアートプロジェクト、パブリックプロジェクト、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く活躍する。大規模建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックな造形性が高く評価される。ミラノサローネへ出展するなど国際的にも活動。

2010 年 京都市芸術新人賞受賞

2004 年-各所 「夢のたねプロジェクト」（国民文化祭 2005、福井、金沢、メルボルンなど多数）

2003 年 「湊町アンダーグラウンドプロジェクト」（JR 難波付近地下空間、大阪）

1995 年 キリンコンテンポラリーアワード'95 最優秀作品賞受賞

■チームラボ

プログラマ・エンジニア（プログラマ、UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ロボットエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、情報社会のさまざまなものづくりのスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。

2012 年 個展「We are the Future」展（国立台湾美術館、台湾）

2011 年 『百年海図巻』『チームラボハンガー』が文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品選出

お問い合わせ

十和田市現代美術館 新居（にい）、豊川

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

2008 年 『花と屍』 発表（ルーヴル宮内国立装飾美術館、パリ）

2007 年 『花紅』 他作品でミラノサローネに参加、auDesign project『actface』が文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品選出

■奈良美智

1959 年青森県弘前市生まれ。1988 年ドイツのデュッセルドルフ芸術アカデミーに入学、卒業後もケルンを拠点に作品を制作。

2000 年に帰国、以後精力的に絵画、ドローイングをはじめセラミックやブロンズの彫刻や大型インスタレーションなど幅広い作品を制作し国内外の展覧会で発表を続ける。現在、栃木県在住。

2012 年 個展「奈良美智：君や 僕に ちょっと似ている」2013 年まで横浜美術館、青森県立美術館、熊本市現代美術館を巡回

個展「青い森の ちいさな ちいさな おうち」十和田市現代美術館

2010 年 「Yoshitomo Nara: Nobody's Fool」(アジアソサエティ・ミュージアム、ニューヨーク、アメリカ)

■蜷川実花

東京都生まれ。フォトグラファー、映画監督。現在、東京都在住。ひとつば展グランプリ、キャノン写真新世紀優秀賞、コニカ写真奨励賞、木村伊兵衛写真賞、大原美術館賞(VOCA展)など数々受賞。活動 開始と同時に毎年写真集を発表し、現在までに80冊近くを出版。

2012年 映画『ヘルタースケルター』で第2作目となる監督作品発表、新藤兼人賞銀賞受賞

2010年 Rizzoli N.Y. から写真集「MIKA NINAGAWA」を出版、世界各国で話題となる

2008年 個展「蜷川実花展 -地上の花、天上の色-」が2010年まで全国の美術館を巡回し、合計約18万人を動員

2007年 映画『さくらん』監督。第57回ベルリン国際映画祭、及び第31回香港国際映画祭に特別招待作品として正式出品

■藤森八十郎

風景編集者。十和田湖奥入瀬渓流の魅力に魅かれて移り住んできたという設定の架空の人物。風景の編集者をめざし、奥入瀬での活動を妄想する。おそらく男性、年齢特になし。2012年地元の人と一緒に作る架空の人物として登場する。

2013年 「超訳 びじゅつの学校」(十和田市現代美術館、青森)

2012年 「Arts Towada Oirase Exhibition & Demonstration」(十和田奥入瀬エリア、青森)

■山本修路

1979年東京都生まれ。2005年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業。現在、東京都在住。学生時代から植木屋の仕事を始め、植物の生態学を学び、森に入る日々を送っている。

2013年 「超訳 びじゅつの学校」(十和田市現代美術館、青森)

2012年 「Arts Towada Oirase Exhibition & Demonstration」(十和田奥入瀬エリア、青森)

2011年 「Story of Forest」(十和田街なかギャラリー、青森)

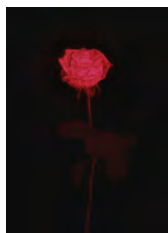
2008年 「松景其之貳」(ラディウム・レントゲンヴェルケAG、東京)

2007年 「PINES」(PH ギャラリー、ニューヨーク)

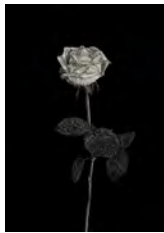
プレス画像

青山悟

①



②



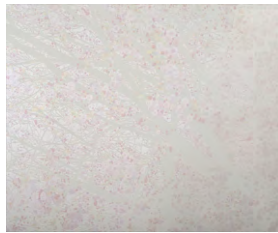
安斉研究所

①



大庭大介

①



大巻伸嗣

①

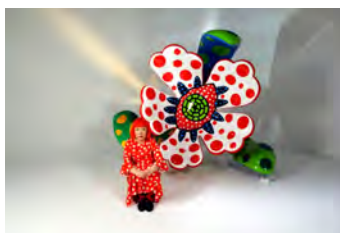


②



草間彌生

①



②



工藤麻紀子

①



②

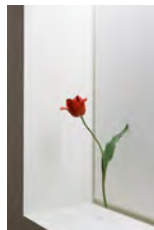


須田悦弘

①



②



高橋匡太

①



チェ・ジョンファ

①



②



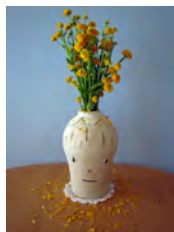
チームラボ

①



奈良美智

①



②



③

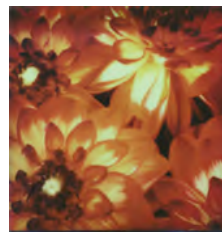


蜷川実花

①



②



お問い合わせ

十和田市現代美術館 新居（にい）、豊川

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

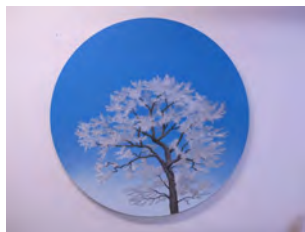
藤森八十郎

①

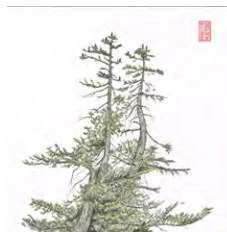


山本修路

①



②



青山悟②

“Roses 6/6” 2011 ポリエステルにメタリック糸と黒糸で刺繍、赤いスポットライト 42 x 32 cm

安斉研究所①

“ウマジン” 2012

大巻伸嗣①

“Echoes-crystallization” 2009 岐阜県美術館 写真：怡土鉄夫

②

“Echoes-crystallization” 2011 《こどものにわ》東京都現代美術館／東京 写真：森田兼次

大庭大介①

“SAKURA” 2012 h.180 x w.220 cm acrylic on cotton Photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH

草間彌生①

“真夜中に咲く花” と草間彌生 2011 © YAYOI KUSAMA

②

“真夜中に咲く花” と草間彌生 あいちトリエンナーレ会場にて 2010 © YAYOI KUSAMA

工藤麻紀子①

“おおどろぼうのよる” 2012 130.5 x 162.0 cm oil on canvas © Makiko Kudo Courtesy of Tomio Koyama Gallery

②

“誰もいないと思った” 2012 181.5 x 227.0 cm oil on canvas © Makiko Kudo Courtesy of Tomio Koyama Gallery

須田悦弘①

“芙蓉” 2012 ミクストメディア © Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagi

②

“チューリップ” 2007 木に彩色 © Yoshihiro Suda / Courtesy of Gallery Koyanagi

高橋匡太①

“プリズムリキッド” (建築家 平田晃久との共作) 2010 photo: 松村康平

チェ・ジョンファ①

“フラワー・ホース” 2008 十和田市現代美術館

②

“マリー・アントワネット” 2009 まちなか展示風景

チームラボ①

“生命は生命の力で生きている” 2011 書：紫舟

奈良美智①

“花頭花瓶 (初代)” 2007 h.20.5 x φ13.8 cm ceramic photo: Yoshitomo Nara

②

“小頭花瓶2” 2009 h.13 x φ17 cm ceramic, golden leaf

③

“小頭花瓶1” 2009 h.18.5 x φ16 cm ceramic, golden leaf

蜷川実花①②

© mika ninagawa Courtesy of Tomio Koyama Gallery

藤森八十郎①

“Happy Rings” 2007

山本修路①

“コブシ” 2012

②

“ラベルドローイング アオモリトドマツ図” 2013

*ほかに広報用媒体をご用意いたしております。お問い合わせください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 新居 (にい)、豊川

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

Fax: 0176-20-1138



Arts Towada 十和田市現代美術館 開館5周年記念展 vol.1

flowers (フラワーズ)

Date:

2013.4.27 SAT

Venue:

十和田市現代美術館
Towada Art Center

13:00-13:30 オープニング・セレモニー Opening Ceremony

17:00-18:30 オープニング・パーティ Opening Party

誠にお手数ですが、準備の都合上、返信用紙に必要事項を記入の上、4月25日(木)までに、FAXもしくはEメールにてお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

Please RSVP by April 25 if you are attending the opning events.

ご出欠 Participation	オープニング・セレモニー Opening Ceremony ☐ご出席 Will Attend オープニング・パーティ Opening Party ☐ご出席 Will Attend
(プレスのみ) 撮影 Shooting	☐希望する ☐VTR ☐Photo 媒体
貴社名/ご所属 Company, Institution	
ご芳名 Name	※ご同伴者はお一人様までとさせていただきます。
ご住所 Address	〒
TEL / FAX	TEL FAX
E-mail	@
通信欄	(インタビューや取材のご要望がありましたら、ご連絡ください)

[お問合せ]

十和田市現代美術館 / Towada Art Cneter

担当: 豊川、佐々木、新居 (にい) / Nii

〒034-0082 青森県十和田市西二番町10-9

Tel. 0176-20-1127 / Fax. 0176-20-1138

email. press@towadaartcenter.com
<http://towadaartcenter.com>